

八幡山ロープウェー 12年ぶりに搬器デザインをリニューアル

絵師「木村英輝」氏のデザインへ一新!

2022年5月20日(金)より運行開始

滋賀県近江八幡市の八幡山ロープウェー（運営：近江鉄道株式会社、代表取締役社長：飯田 則昭）では、この度ロープウェーの搬器のラッピングデザインを2022年5月20日（金）リニューアルしました。

八幡山ロープウェー1962（昭和37）年の開業から数えて今年開業60周年を迎え、現在の搬器は2005年に導入し3代目に当たります。

今回は12年ぶりに搬器のデザインを一新し、八幡山山頂にある村雲御所瑞龍寺門跡の須弥壇や壁面などを手掛けた京都の絵師「木村英輝」氏がデザインした作品の中の一作であり、図柄は鯉が竜神さまに変化したとの由来を元にしたもので、バックの桜と紅葉は八幡山の自然をモチーフにしています。

今回の搬器デザインのリニューアルにあわせて、山麓駅舎や乗降ホームを黒の落ち着いた色合いにリニューアルしたほか、新型コロナウイルス感染症対策として、お客さまに安心してロープウェーをご利用いただけるよう、搬器内にナノゾーンコート（抗菌コート）の施工を行いました。

八幡山は豊臣秀次によって築かれた八幡山城跡として、京都より移築された村雲御所瑞龍寺門跡、山頂から望む琵琶湖や近江八幡市街の町並み、桜・新緑・紅葉といった八幡山ならではの自然などを満喫することができ、年間を通して多くの観光客・参拝客にお越しいただいております。

ぜひこの機会に、リニューアルされたロープウェーで歴史と文化、四季折々の自然を満喫できる八幡山観光をお楽しみください。

詳細は、別紙のとおりです。



デザインをリニューアルした搬器（5月20日運行開始）



これまで使用していた搬器デザイン

【別紙】

八幡山ロープウェー 搬器デザインリニューアルについて

1. 運行開始日 2022年5月20日（金）

2. デザインコンセプト

八幡山山頂にある村雲御所瑞龍寺門跡の壁面や須弥壇などを手掛けた京都の絵師「木村英輝」氏がデザインし、図柄は鯉が竜神さまに変化したとの由来を元にしたもので、バックの桜と紅葉は八幡山の自然をモチーフにしたもの。



3. 八幡山ロープウェー乗車料金

往復 おとな（12才以上） 890円 / こども（6才から12才未満） 450円
片道 おとな（12才以上） 500円 / こども（6才から12才未満） 250円

※村雲御所瑞龍寺門跡の拝観には別途拝観料が必要です。

4. 八幡山ロープウェーまでのアクセス

所在地：滋賀県近江八幡市宮内町 257

【お車の場合】

名神高速道路竜王ICより12km、八日市ICより16km
無料駐車場あり

【電車・バスの場合】

JR・近江鉄道「近江八幡駅」から長命寺行きバスで約7分、
「八幡堀（大杉町）八幡山ロープウェー口」下車徒歩約5分
（バス運賃：おとな片道220円、こども片道110円）



5. お客さまからのお問合せ先

八幡山ロープウェー TEL.0748-32-0303（9：00～17：00）

URL.<https://www.ohmitetudo.co.jp/hachimanyama/>

【参考】

京都の絵師「木村英輝」氏がデザインした村雲御所瑞龍寺門跡の須弥壇や壁画



本堂の須弥壇



回廊の壁面